

# 令和元年度 地域相談支援フォーラムin青森開催報告

地域相談支援フォーラムin青森  
**KNOW**  
to us/ to myself

がん相談員を知ってもらうこと、相談員が自身を知ること

第1部(発表)  
東北各県の広報  
(がん地域療養冊子、ホームページの活用)

第2部(講演・グループセッション)  
相談員のストレスマネジメント  
～ストレスを成長の糧にする～  
講師 福地智巴 先生  
(静岡県立静岡がんセンター)

令和元年11月16日(土)  
10:00～17:00

国立がん研究センター「認定がん専門相談員」研修該当研修(1単位)

研修会終了後A-FACTORY(青森市内)にて懇親会を用意しています。  
詳細は「懇親会のお知らせ」をご確認ください。

会場 青森新都市病院 3階大講堂  
(青森市石浜3丁目1番地)  
JR新青森駅西口より徒歩3分

主催: 青森県がん診療連携協議会相談支援部会  
共催: 東北がんネットワークがん患者相談支援専門委員会  
岩手県・秋田県・宮城県・山形県・福島県各がん診療連携協議会がん患者相談部会  
後援: 青森県・岩手県・秋田県・宮城県・山形県・福島県

お問い合わせ先(事務局) 青森県立中央病院がん相談支援センター 電話17-728-8435(直通)

～KNOW～ to us/to myself

がん相談員を知ってもらうこと、相談員が自身を知ること

日時：令和元年11月16日(土) 10:00～17:00

場所：青森新都市病院 3階 大講堂

青森県立中央病院

飯村 健治




# 開催概要

テーマ：～KNOW～ to us / to myself  
がん相談員を知ってもらうこと、相談員が自身を知ること

主催	青森県がん診療連携協議会がん相談支援部会
共催	東北がんネットワークがん患者相談室専門委員会 秋田県・岩手県・宮城県・山形県・福島県がん診療連携協議会患者相談部会
後援	青森県、秋田県、岩手県、宮城県、山形県、福島県
研修の趣旨	がん相談における東北6県の広報手段（地域療養冊子、ホームページの活用方法）を知り、行政を交えて、地域の特徴に応じた方策について情報共有する。がん患者さんやご家族、地域をどのように支えることができるかについて考え、支援に繋げることを目指す。また、日頃の相談支援業務で、自身の心身の負担が大きくなりがちながん相談員が、ストレスマネジメントについて学び、考え、ストレスも成長の糧として今後の相談業務を実践していくことを目指す。
実行委員	青森県14名 秋田県1名、岩手県1名、宮城県1名、山形県1名、福島県1名
当日参加者	78名 （県別内訳） 青森県34名、秋田県7名、岩手県5名、宮城県15名、山形県7名、福島県10名 （職種別内訳） 看護師26名、MSW・PSW30名、医師6名、行政5名、その他11名

# 当日のスケジュール

9:15~ 9:55~	受付開始 各県ごと受付 ○オリエンテーション	
10:00~	オープニング・セッション（開会） 挨拶 ・青森県がん診療連携協議会相談支援部会長	 丹野弘晃
10:10~	第1部 東北各県の広報（地域療養冊子、ホームページの活用方法） 青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県	座長 丹野弘晃
12:00~	昼 休 み	
13:00~	第2部 相談員のストレスマネジメント	講師 静岡県立静岡がんセンター 福地智巴
16:40~17:00	クロージング・セッション（閉会） 総評 ・東北がんネットワーク患者相談室専門委員会委員長  引き継ぎ式 青森県部会長から山形県部会長へ  挨拶 ・山形県がん診療連携協議会相談部会長	藤谷恒明      鈴木克典

# 第1部 【各県の広報、地域療養冊子、ホームページの活用】について

青森県のがん療養情報について




青森県がん診療連携協議会  
www.aomori-cancer.jp  
青森県がん診療連携協議会相談支援部会

岩手県 がん相談の広報

岩手県がん診療連携協議会  
がん患者支援・情報提供部会




秋田県の広報

2019年11月16日  
秋田県がん診療連携協議会  
がん患者相談部会  
広報情報WG



宮城県のがん療養情報について



宮城県がん診療連携協議会患者相談部会

山形県の広報  
～行政サイドの取組～



東北各県の広報（福島県）

福島県の状況  
国内の都道府県で3番目の百歳を有し、県庁部と、その周辺部、特に山形部との交通アクセスの利便性には差があり、医療機関の偏在も顕著である。がん相談の空白地域が存在する。

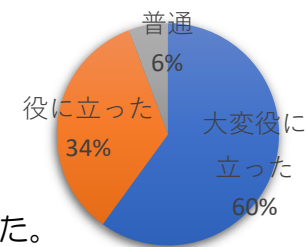
広報の取り組み  
※福島県がん診療連携協議会  
相談支援部会

- がん患者療養冊子の作成
- 山形がん相談会の企画
- PR素材（ポスター、チラシ等）
- 同業誌連携



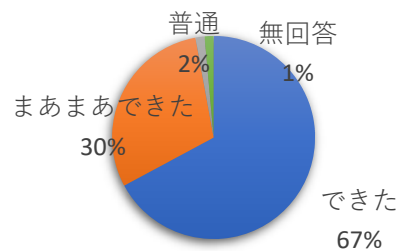

## ＜アンケート結果＞～自由記載より一部抜粋～

- 各県の取り組みを知ることができた。
- 各県の工夫や努力が感じられた。このガイドブックを大切に使いたいと思った。
- 療養冊子、インターネットのサイト等、自県で取り組めることを考えていきたい。
- 各県の取り組みが具体的に聞けるのはとても良い。広報については当県は遅れているので、今後の参考になった。

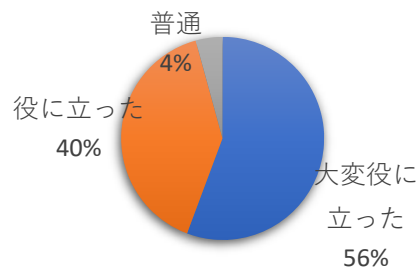


## 第2部【相談員のストレスマネジメント】について

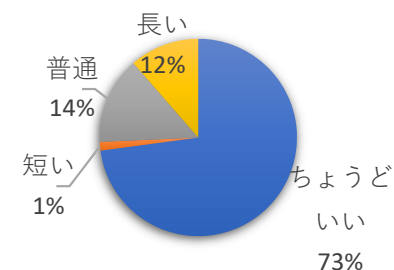
①講演は理解できたか



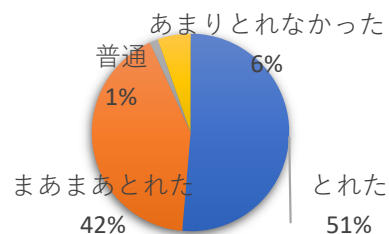
②グループワークはいかがでしたか



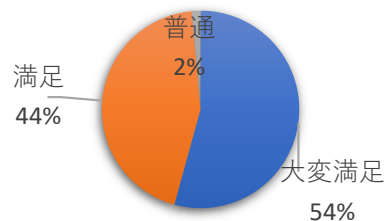
③研修時間はどうでしたか



④参加者間のコミュニケーションは取れましたか



⑤全体を通して、研修内容はいかがでしたか



### <自由記載より一部抜粋>

- ・ストレスに気づきストレスに対処するために必要なことだと思った。
- ・自分を見つめ直すことや、他の意見について知ることができてよかった。自分のストレスフルな状態を客観視することの大切さ、自分のクセへの理解の大切さを知ることができた。
- ・他県、他業種の方と交流ができ、ストレスについて共有することができてよかった。
- ・グループワーク割について、もう少し考慮を（女性ばかりだった）意見の偏りがあり活発性も低く感じた。
- ・自分を大切にしないと患者さんのサポートはできないことを再認識することができた。

## その他アンケート結果

Q 今後フォーラムで取り上げたいテーマや試してみたいプログラム編成がございましたらご記入ください

<自由記載より一部抜粋>

- 今回2部の続きマインドフルネス。
- ピアサポーター養成研修について。ピアサポーターとがん患者支援について。
- 講義形式もよいがサロンという形で各県の相談員と話す機会がほしい。
- 「評価」「フィードバック」「相談員のサロン」は必要かもしれません。



Q 本フォーラムについてご意見やご感想がございましたらご記入ください

<自由記載より一部抜粋>

- リラックスして参加できる内容は気持ちも軽くとっても実り多かった。
- 継続していけるといいと思います。
- 駅から近い会場で助かりました。お弁当も美味しかったです。準備の方大変ありがとうございました。
- 皆様にお会いできて良かったです。
- 運営に関わっていただきました青森県の皆様お疲れさまでした。良いフォーラムでした。
- 東北2周目はあるのでしょうか？

# 今後に向けて

## 【課題】

- 事務局としての事務作業の多さ（相談業務の片手間には大変厳しい）
- 実行委員間の情報共有の機会を確保することが困難

皆様のご協力を賜り、無事、盛会にフォーラムを終了できました。誠にありがとうございました。

東北ブロックでは、令和2年度、山形県でフォーラムを開催いたします。引き続きよろしく願いいたします。

